

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農産物直売所設置推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	03	59
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）		主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①市内産農作物 ②消費者・市民	意図	①市内で多く消費されるようになる（地産地消の定着）。 ②流山産の農作物の良さを実感できるようになる。
事業内容	生産農家等で構成される「流山市農産物直売所出荷組合」とともに、市内全域の圃場で収穫された農作物を直売する施設であり、市内産の農作物のPR、地産地消の推進拠点、市民と農業者の交流拠点となる施設でもある「新鮮食味」を開設し、開設後の運営面のサポートを行うもの。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市農産物直売所出荷組合が平成23年2月に設立され、開設の準備が進められた。勤労者福祉施設「コミュニティプラザ」内に「新鮮食味」を平成23年11月に開設し、市内各地の農産物の販売を開始した。平成24年度から小・中学校へ学校給食用食材としての納品を開始している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	出荷実績のある生産者等の数	51	49	51	件	→→	
②	1日の平均売上額	86,771	84,965	88,506	円	↑↑↑		
③	1日平均購入客数	100	103	108	人	↑↑↑		
④	平均客単価	861	826	817	円	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <b>【市の協力・負担】</b> ①posシステムの借上料（11月より5ヶ月の再リース） （55,125円×7ヵ月+4,687円×5ヵ月＝409,310円） ②テナント（コミュニティプラザの一部の行政財産使用許可）使用料免除 ③直売所経理事務一式  <b>【営業日時】</b> 毎週火曜日～日曜日 9:30～14:30			
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度					
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,116,500	5,839,140	3,841,810					
事業費(b)(円)	661,500	2,074,140	409,310					
うち一般財源	661,500	2,074,140	409,310					
職員給与と費(c)(円)	3,455,000	3,765,000	3,432,500					
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50					
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	来店者が見やすいよう商品陳列棚をマンパワーで修繕する。	③取組の課題	営業収支の健全化、集客数の増加
②今年度(H28)に実施した取組	商品陳列棚とレジスペースを修繕した。また、7月に「夏野菜まつり」を、12月に「感謝祭」のイベントを開催し、直売所のPR及び市内産農作物の地産地消を推進した。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体が行うイベントに参加して直売所の周知活動を行う。</li> <li>学校給食における市内産野菜の使用拡大</li> </ul>